



市長モリテツの
ほっとトーク

July 2022

市民病院のこれから、未来のために

— 市の役割と新病院の整備場所について —

三田市長 森 哲男

6月2日、三田市、済生会兵庫県病院および神戸市は共同で三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合を目指すことを発表しました。

「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」からの提言を受け、「両病院を再編統合し、両病院の中間地点付近に新病院を整備する」という内容です。加えて、三田市、済生会兵庫県病院、神戸市が担う役割と新病院の整備費や運営費の負担割合についても発表しました。

一部の方からは、「設置者である三田市の役割がわからない」など、戸惑いや不安の声が聞かれました。本市は、新病院の設置者として、三田市民はもちろん神戸市民をはじめ近隣の住民（現市民病院も利用者の約3〜4割は市外住民）に急性期医療を安定的に提供する責任があります。新病院の名称もそれにふさわしいものが適当だと考えます。また、指定管理者として運営を担う予定の済生会兵庫県病院を法的責任に基づき監督する役割もあります。済生会には、公の志を持つ民間団体としてのノウハウを活かした新

病院の運営を期待しています。

「整備場所が神戸市北区になるのか」との声もあります。本市は、市内5カ所の候補地を調査しました。いずれも都市公園や商業地域であったり、道路事情等の課題がありました。神戸市との協議で、市境から車で数分以内の土地を責任を持って確保する（財政措置も含めて）という提案が同市からあったこと等を総合的に判断し、決定しました。

さらに、共同発表後に本市は「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本方針」を発表。本市独自で重点的に取り組む課題として、①新病院の交通アクセスと②現市民病院の跡地利用を挙げました。両課題とも、市民の皆さんの意見をしっかりと受け止めて検討を進めていきます。

これから進める基本構想の策定では、市民の代表機関である市議会のご意見とともに、市民との意見交換会やパブリックコメントなどを通じて、市民の皆さんのご意見を十分に考慮した構想の策定を目指していきます。

※4〜7頁に今回の再編統合について、掲載しています。

Mayor's Photo Diary



5月25日 水防・防災合同パトロールを実施。平成30年に発生した山腹崩壊の復旧工事を視察



6月10日・13日 令和4年6月三田市議会定例会において、議員からの一般質問へ答弁を行いました



6月15日 2年ぶりに開催された三田市肉牛生産振興会総会に招かれ挨拶しました